

計画策定の検討方針とスケジュール

1. 計画策定の背景と目的

- 石狩市議会定例会により、市政執行方針が示されている。
- 執行方針で、サイクリング環境整備について言及。

自転車の活用は、単に近隣の移動手段としてだけではなく、環境負荷の軽減や健康増進等さまざまな効果が期待されており、その利用環境は大きな変革期を迎えている。

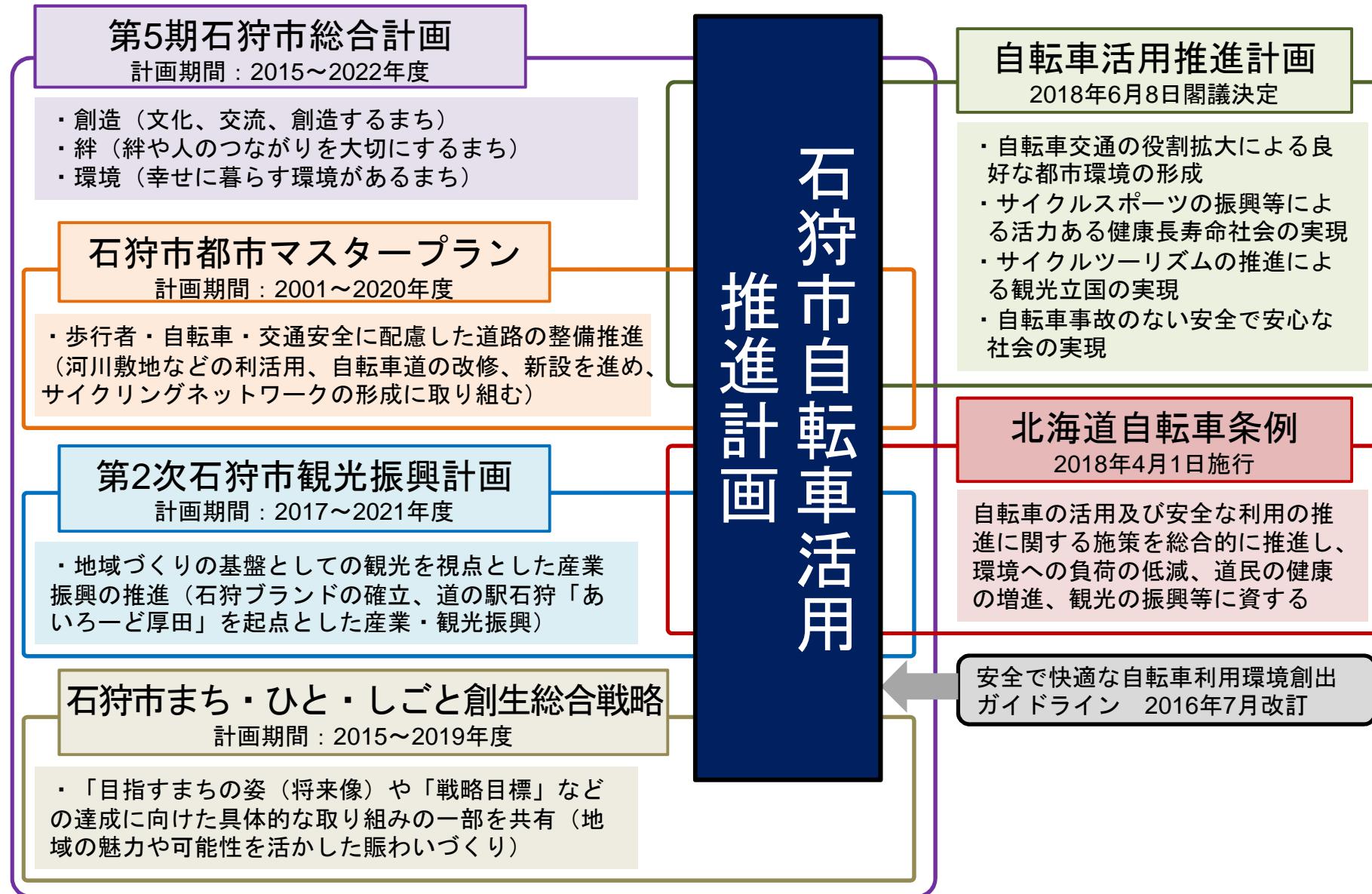
特に北海道の雄大な自然景観を求めて国内外からサイクリルツーリストが多数来道しており、走行環境の改善や受け入れ環境の充実等が求められている。

このため、国、道、市等が連携し、世界水準のサイクリング環境の整備に向け、国内でも先駆的な「自転車活用推進計画」を策定し、サイクリルツーリズムのさらなる推進を通じ、道の駅を含めた周遊観光の確立と、交流人口の拡大を図っていくこととする。



平成30年第1回定例会（H30.2.23）

2. 計画策定の位置づけ



3. 都市内の自転車ネットワーク検討方針（案）

- 都市内の自転車ネットワーク検討にあたっては、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を参考に検討方針を作成

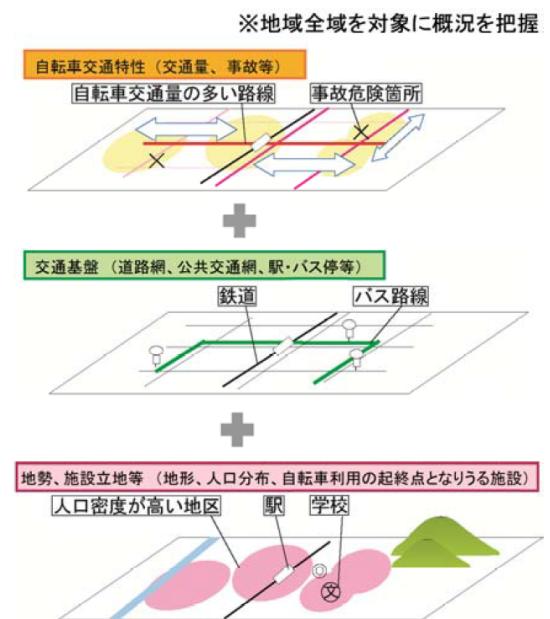
●都市内の自転車ネットワーク検討方針（案）

（1）自転車利用に関連する計画の把握

- ・石狩市総合計画
- ・石狩市都市マスター プラン
- ・石狩市観光振興計画
- ・石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略

（2）自転車利用に関わる地域の概況把握

- ・地域の交通基盤（道路網、公共交通網（バス路線））
- ・交通特性（歩行者・自転車・自動車交通量、事故発生状況）
- ・地勢等（人口分布、地形の起伏など）
- ・施設立地の状況（自転車利用が多い施設、学校、駐輪場など）

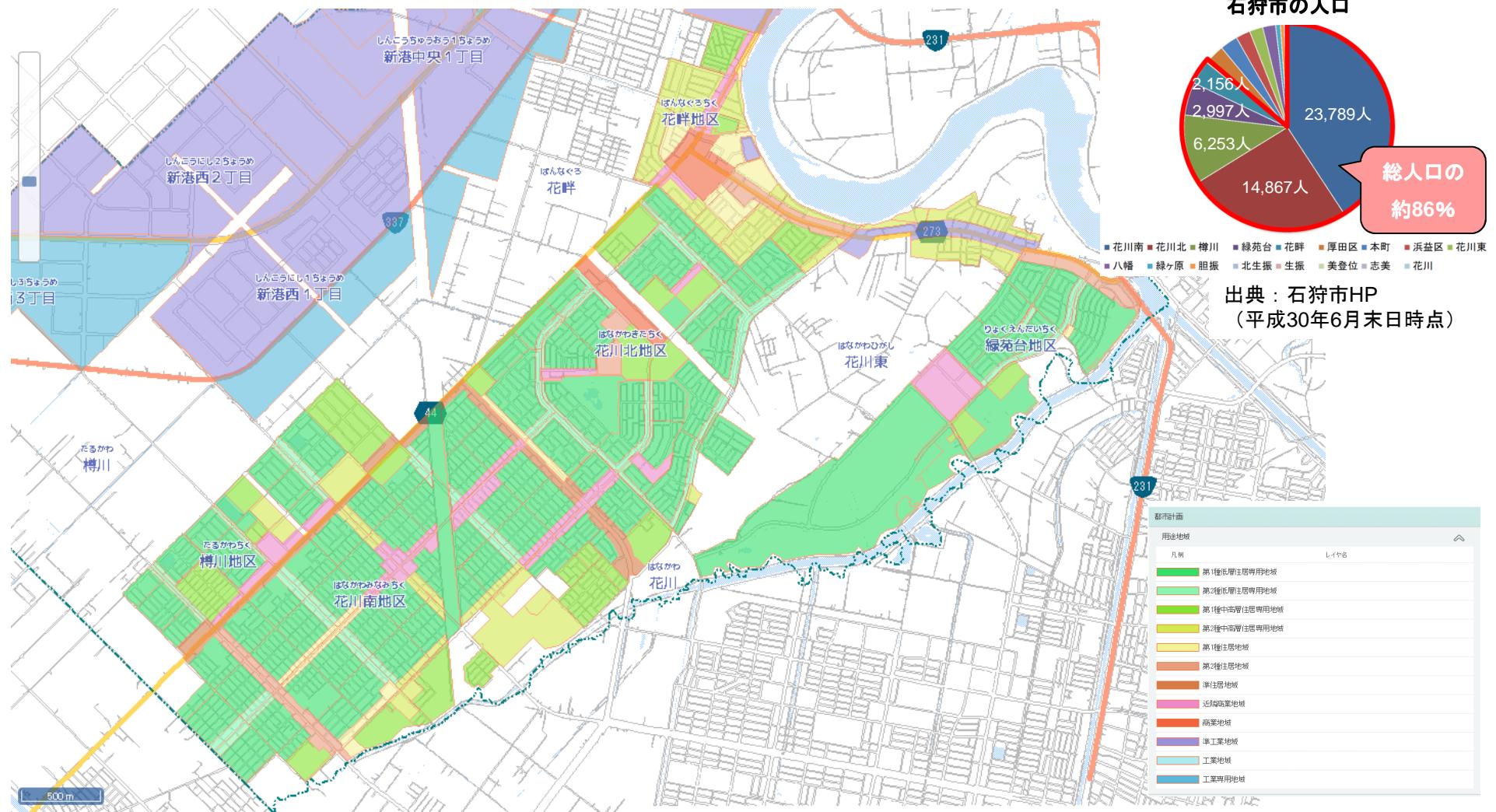


- ・これらを踏まえ都市内の自転車ネットワーク路線を選定

3. 都市内ネットワーク検討方針（案）

○ 都市内自転車ネットワーク検討エリア（案）

石狩市の人団の約9割が集中する地区（樽川、花川地区、花畔、緑苑台）について検討



4. 広域の自転車ネットワーク検討方針（案）

- 広域の自転車ネットワーク検討にあたっては、既設のサイクリングルートを基本として検討

●広域の自転車ネットワーク検討方針（案）

（1）石狩市周辺の全てのルートマップを考慮し検討

- ・石狩市サイクリングマップ
- ・基幹ルート（石狩川流域圏ルート）

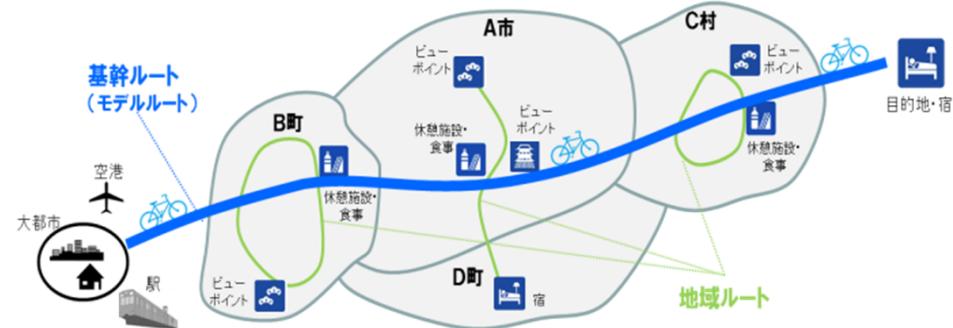


図 基幹ルートと地域ルートのイメージ

（2）全道的取組と整合を図りつつ走行環境を検討

- ・基幹ルートにおける試行（矢羽根型路面表示、分岐点での案内表示など）の動向を把握。

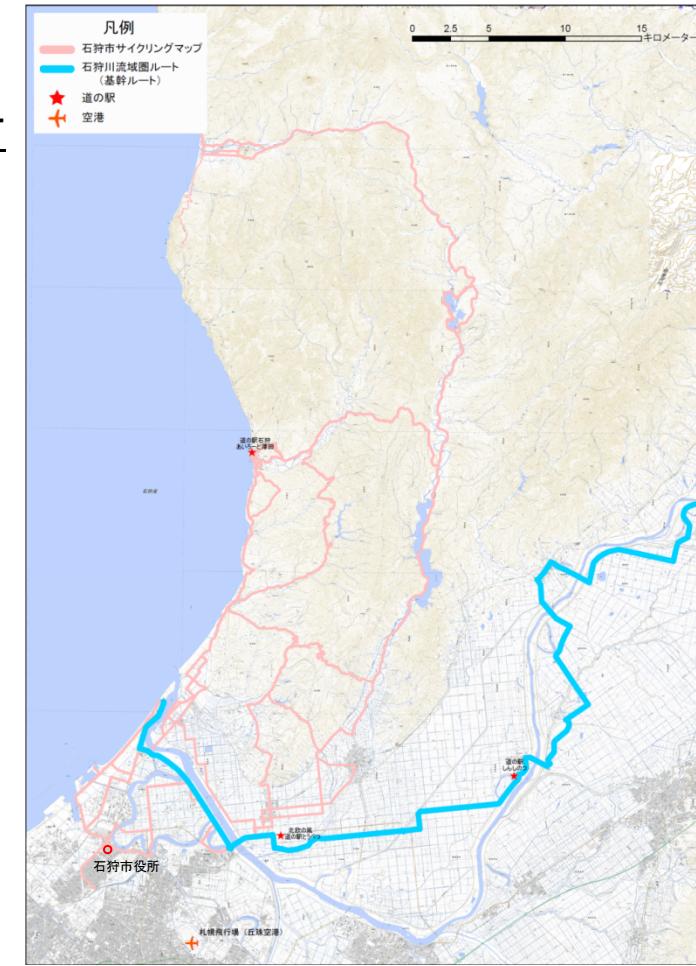
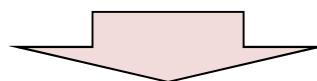


図 石狩市周辺の自転車ネットワーク

- ・これらを踏まえ広域の自転車ネットワーク路線を選定

4. 検討方針と検討スケジュール（案）

- 広域自転車ネットワーク検討エリア
石狩市サイクリングコース（全12コース）の範囲について検討

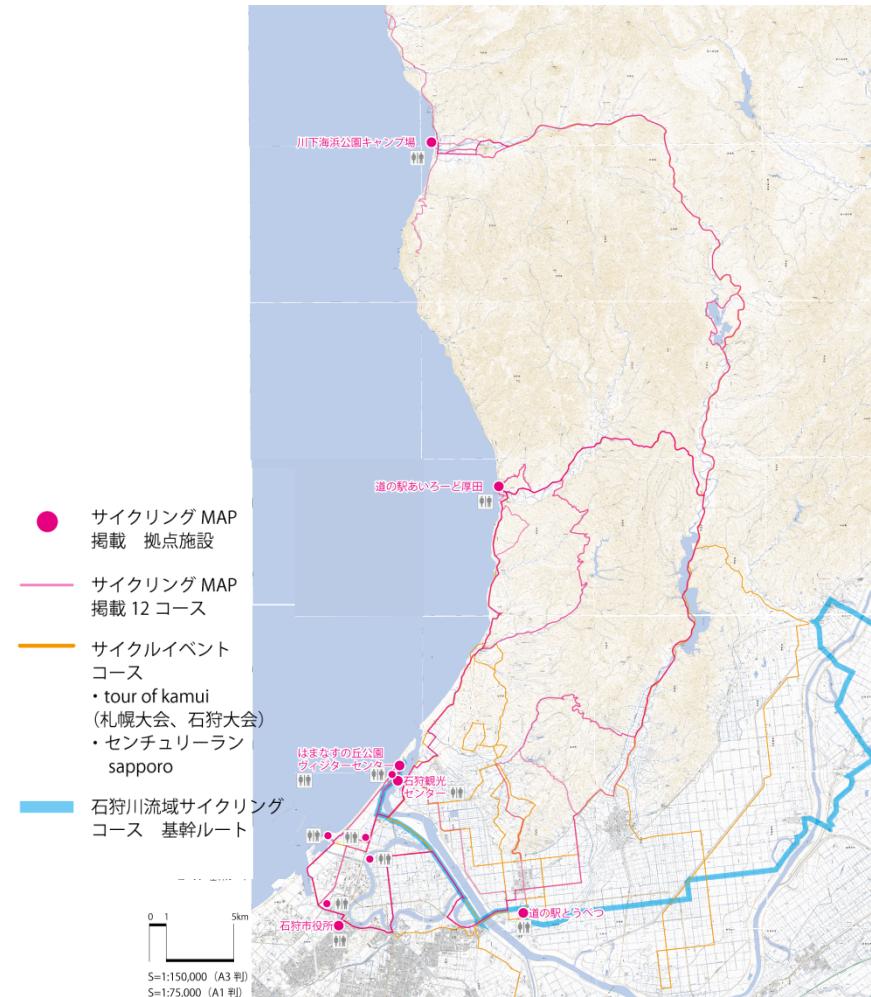


図 広域のネットワーク検討範囲
(石狩市サイクリングマップほか)

5. 受け入れ環境施設検討方針（案）

●サイクリストの受け入れ環境の検討方針（案）

- 既存コース（MAP, イベント）は拠点が集積する市役所周辺と厚田地区を結ぶルートが中心。
- 受け入れ環境の検討にあたっては、以下、2点を念頭に実施。
 - ①「道の駅」石狩「あいろーど厚田」のサイクリング拠点化に向けた具備すべきサービスの検討
 - ②石狩市内への効果的な誘客促進策の検討

①「道の駅」石狩「あいろーど厚田」のサイクリング拠点化に向けた具備すべきサービスの検討

道の駅の機能	具備すべき具体的なサービス（案）
休憩機能	<ul style="list-style-type: none">・サイクルラック（図1参照）、フロアポンプ、工具などの設置・自転車積載車両の専用駐車場の整備（シックスホイールパーキング）・地元食材を活用したサイクリスト向けレストランメニューの開発
情報発信機能	<ul style="list-style-type: none">・サイクリングマップの設置（おすすめルート、グルメ、コンビニ、走行危険箇所、給水可能箇所、公衆トイレなど）
地域連携機能	<ul style="list-style-type: none">・地場産品を活用したサイクリスト補給食の開発・販売・道の駅周辺を巡るレンタサイクル（図2参照）
その他	<ul style="list-style-type: none">・シャワーブース、コインロッカーの設置



図1 サイクルラックの設置
(道の駅 あいろーど厚田)



図2 レンタサイクルの拡充
(道の駅 しむかっぷ)

②石狩市内への効果的な誘客促進策の検討

視点	具体的な取り組みメニュー（案）
情報発信	<ul style="list-style-type: none">・多言語PR動画の製作・YouTubeでの公開（図3参照）・サイクリングマップの多言語化
アクセス	<ul style="list-style-type: none">・路線バスと連携した輸送の利便性向上
旅行商品	<ul style="list-style-type: none">・札幌・新千歳空港を起点としたサイクリングツアーの開発
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none">・石狩市内の宿泊施設（客室）への自転車の持ち込み（図4参照）



図3 PR動画の作成(トカチ400)



図4 客室への自転車持ち込み
(HOTEL TAITO)

6. 計画目標の設定

- 計画目標の設定および施策について推進計画を基に以下の通り素案を作成

目標	施策（案）
<u>目標1</u> 自転車交通の役割拡大による 良好な都市環境の形成	<ul style="list-style-type: none">・自転車通行空間の計画的な整備推進
<u>目標2</u> サイクルスポーツの振興等による 活力ある健康長寿社会の実現	<ul style="list-style-type: none">・サイクルスポーツ振興の推進・自転車を活用した健康づくりの推進
<u>目標3</u> サイクルツーリズムの推進による 観光立国実現	<ul style="list-style-type: none">・世界に誇るサイクリング環境の創出
<u>目標4</u> 自転車事故のない 安全で安心な社会の実現	<ul style="list-style-type: none">・安全性の高い自転車普及の促進・自転車の点検整備の促進・自転車の安全利用の促進・学校における交通安全教育の推進・災害時における自転車活用の推進

7. 検討方針と検討スケジュール（案）

